

電機各社の
主な人員削減計画

会社名	人数
東芝	922
富士通	700
三洋電機	1200
シャープ	585
ソニー	3000
パナソニック電工	1000
日立	4000
ルネサス	1300
富士電機	2000
NEC	1200
日本IBM	1000
沖電気	400
ローム	1000
村田製作所	400
パイオニア	300

電機労働者懇談会調べなどから作成。一部実施分も含む。(1/24時点)



電機の大企業は、一九

大企業は社会的責任で雇用の確保を

人員削減計画 - 正規・非正規あわせ 電機3万人超、日立は4千人超

自動車産業と並ぶ、我が国の基幹産業である電機産業において、非正規労働者の雇用打ち切りや正規労働者の人員削減が進められています。

電機産業で非正規労働者や正規労働者の人員削減計画（一部実施分を含む）が3万人を超えていることが、電機労働者懇談会の調べで明らかになりました。（1/24時点）

さらに三洋電機、沖電気、ルネサスなどでは、非正規の削減に加えて正規社員についても数百人規模の削減を計画。ソニーでは世界全体で一万六千人を超える人減らしを行う方針です。

日立も、08年度の業績悪化を理由に、2010年3月末までにグループ全体で7千人を対象に人員削減や配置転換などを実施すると発表（1月30日）しました。

日立関連会社においてはすでに、派遣・期間工の解雇が行われています。（全社ビラ参照）正規社員にも事業再編に伴う職場移動や早期退職や帰休などが行われています。

九〇年代後半から二〇〇〇年代初めにかけての大リストラで多くの正規社員を削減する代わりに、派遣や請負など非正規労働者を大量に雇い入れ、製造拠点の海外移転や分社化などと併せて大きくなもうけをあげてきました。

電機大手の多くは、07年3月期にはバブル期を上回る利益を計上。08年3月期の連結決算では、日立、東芝、三菱、NEC、富士通、パナソニック、シャープ、ソニー、三洋電機の9社だけで内部留保（ため込み利益）が17兆6千億円に達しました。

雇用を確保して賃上げも可能

ぼう大な内部留保のほんの一部を使えば、労働者の雇用を確保し、労働者の賃金も引き上げることができます。労働者の国民の生活不安を解消してこそ、内需拡大による日本経済回復という展望が開かれ、企業業績の回復も図られます。今こそ大企業は社会的責任を果たすべきです。

雇用・賃金をめぐる労使の主な対立点

	日本経団連(経営側)	連合(労働側)
ベア	経営環境が厳しく、応じられる企業は少ない	物価が上昇しており、個人消費の活性のためにも必要
ワークシェアリング	雇用対策の選択肢の1つ	正社員、非正規社員の賃金格差の是正が先に必要。賃下げのおそれも。
企業の内部資金の活用	企業の将来の成長に必要	雇用維持のために使うべき

日立 懇

<発行>2009年2月号

<茨城地区版>

日立関連労働者懇談会

〒108-0073 東京都港区三田3-2-20

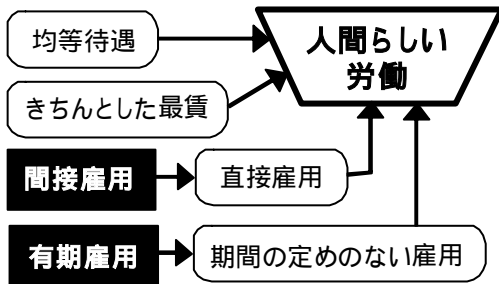
(電機労働者懇談会気付)

TEL(03)3455-6006 FAX(03)3451-3595

http://www.hitachikon.net

Eメール info@hitachikon.net

最寄の連絡先 090-8747-6239 (馬場)





(日)モノづくり 技能競技会

機械品や配線組立品の外注化が進み、工場内での技能力低下が避けられない昨今。作業者の中から希望や選抜により機械加工、溶接、配電盤の配線組立など、8種類の技能競技会が開かれた。「モノづくり」技能のレベルアップに繋がることを期待したい。

(日立)

先行き不安の声が

円高と金融不安の影響で仕事量が減り、週休3日制や帰休、雇い止めなどの生産調整を始めた会社が増えてきました。AEパワーも受注の取消しや延期など今後の仕事量確保が厳しくなっており、先行き不安材料がいつぱいです。「ソニーのように早期退職を募集するのかな」「賃下げや派遣切りがあるのかな」と職場で囁かれ始め、不安が広がっています。

(AEパワー)

増え続ける人員削減

派遣労働者の雇い止めが1月15日付で行われた。本人はまだまだ「働きたい」と言っていた。中には、この春高校に進学する子どもをもつ人もいて、失業は大変厳しいと言っている。派遣元会社では、1月に20名、2月に50名の削

減だと言っている。3月の年度末にはもっと増えると思われる。会社は円高を理由に、この経済危機をチャンスとばかりに、中国への製品移管を大規模に進めている。そのために、犠牲になるのはいつも弱い立場の労働者だ。経済団体は「ワークシェアリング」と言っているが、派遣や社員の手を切らずに仕事を分かち合うのが本筋ではないか。

(日立工機)

経済危機 今こそ 組合の存在感を

年明けより佐和工場の社内食堂で料金改定で値上げがありました。そんな話は聞いていなかったの、買い置きの食券で何日か食べてしまったという人も。以前は福利厚生として組合の食堂委員会が開かれ、値上げ理由、やサビス改善の報告があり職場で論議されたものでした。

一時金の個人成果反映分でも会社マル投げ。職場での生産の海外移転や「派遣切り」にも無反応。どんどん「組合」が遠くなります。(日立工機)

七千億円の赤字に唖然!

日立は、09年3月期の連結業績見通しを下方修正し、最終損益が10月に予想した150億円の黒字から7千億円の赤字になると発表しました。

世界的な景気悪化で薄型テレビなどすべての部門で売り上げが落ち込んだのが原因と述べ、「縮小する市場に対応する」としてグループ全体で

7千人を配置転換・削減することを明らかにしました。7千億円の赤字額は、日本の製造業では最大とか。職場では「08年度は赤字事業も改善し、今年度は大丈夫といっていたはずなのに」と脆弱な経営に唖然。(大みか)

人間ドック 高額なおブションにびっくり

水戸病院の人間ドックのオプション項目が年々増えているように感じる。男性で6項目、女性で7項目もある。個人負担額は脳ドックの一万四千円は別格にしても、それ以外のオプション全部で男性は約一万四千円、女性で約一万六千円にもなる。受けておけば安心とは言えるだろうが、逆に言う個人負担一万二千円の基本検診だけでは心配ということになり、割り切れないのが残る。血液検査だけで済む前立腺などは極力基本項目に含めて、自己負担を少なくできないものか。

日立健保のHPにある提携の一般病院リストには、千葉や東京には乳がんや肺がんは基本検診に含んでいる病院もあり、電車を使っても安いかも知れない。乳がん検診は超音波検診よりも、山田邦子の公共広告機構のCMにあるマンモグラフィのほうが無効とか。会社の病院が面倒なしなのは確かだが、

いろいろな観点から比較検討してみたほうが良さそうだ。

(大みか)

